# ふるさとの光
## 発見プロジェクト　7紙連携企画
### in 赤穂市

# 輝く魅力を探す旅路へ

神戸新聞社をはじめ西日本の7地方新聞社が連携し、地域資源や魅力を発掘し、発信する「ふるさとの光」発見プロジェクト。今回は義士や塩のまちとして知られる赤穂市が舞台です。「訪れるたび、心とからだがととのうまち、赤穂」をメインテーマに同市ゆかりの4人が選んだ「ふるさとの光」を紹介します。選ばれた「ふるさとの光」は全部で16件。こちらをさらに4つのテーマに分類して分かりやすくご紹介します。

【メインテーマ】
訪れるたび、心とからだがととのうまち、赤穂

【4つのテーマで分類した「ふるさとの光」】
- 心に響く赤穂の風景
- 人々の温かさに触れる赤穂の出会い
- 時を超え今に息づく赤穂の歴史
- 心と体ほどける赤穂のミネラル

「ふるさとの光」発見プロジェクトの詳細はこちら

新快速播州赤穂行き

赤穂線Ｕｒａｒａ

【主　　催】「ふるさとの光」発見プロジェクト実行委員会（構成＝北國新聞社、福井新聞社、京都新聞、神戸新聞社、山陽新聞社、中国新聞社、西日本新聞社）
【特別協賛】ＪＲ西日本
【協　　力】赤穂市

**関西福祉大学**
**教育学部准教授**
金子　美里(かねこ・みさと)さん

1977年生まれ。中学美術科教員を10年務めた後、現在は関西福祉大学（赤穂市）で子どもの表現活動や学びに関する教育・研究に従事。筑波大学大学院博士課程に在籍し「思考する力を育てる振り返り」を研究している。赤穂市では、学生と農家と連携した野菜販売「八百八」など地域資源の発信に取り組む。赤穂市文化とみどり財団評議員や空家対策協議会委員として、文化・環境・地域課題の分野からまちづくりに関わる。

**公益社団法人ひょうご観光本部**
**事業推進部長**
土井　友美(どい・ともみ)さん

兵庫県職員。2023年４月からひょうご観光本部で、国内観光の推進とインバウンド誘客推進事業に従事。土地の個性を味わいながら五感で楽しむ「ひょうごテロワール旅」を推進し、兵庫県ならではの体験コンテンツの開発や魅力発信に取り組んでいる。今年２月には赤穂市内で「西播磨観光プラッシュアップセミナー」を実施。播磨エリアへの誘客事業にも深く関わっている。

## 選定委員のみなさん

**赤穂観光大使**(日本旅行)
平田　進也(ひらた・しんや)さん

1957年生まれ。奈良県出身。日本旅行に入社後、添乗員としての豊富な経験と愛されるキャラクターで、ナニワのカリスマ添乗員として知られ、幅広い層のファンを持つ。現在は「おもしろ旅企画ヒラタ屋」を立ち上げ、イベントや講演会開催などの活動のほか、赤穂観光大使も務め、赤穂義士祭のパレードに参加した経験もある。

**赤穂化成株式会社**
**AMAMI　TERRACE担当**
野中香映(のなか・かえ)さん

1978年生まれ。大学卒業後、赤穂化成株式会社のマーケティング部で、塩商品や「鶏肉のレモン漬けのたれ」などの商品開発を担当する。2022年から赤穂市御崎にある「AMAMI　TERRACE」の運営に携わり、土産物の商品開発と塩作り体験の講師を担当。赤穂塩のおいしさを伝える活動を行っている。

## ■ 赤穂大石神社

地元の歴史を知るには、地元の神社を訪問するに限ります。そして赤穂市といえば忠臣蔵、四十七義士。境内には浅野家、大石家由来の宝物等貴重な史料が保管されている義士史料館があり、元禄の世界にタイムスリップしたような気分が味わえます。現代では大願成就のパワースポットとして知られていますが、日本人であれば一度は耳にしたことのある忠臣蔵の世界にあえて浸っていただきたいです。（土井さん）
赤穂市上仮屋131の７　☎0791・42・2054

## ■ 大避神社

秦河勝は、飛鳥時代前半に聖徳太子に仕えた古代氏族でした。聖徳太子の死後、蘇我入鹿の難を避けて海路で坂越に漂着し、千種川流域の開拓を進めるなど赤穂と密接な関係を築き、坂越の地で没したと伝えられています。この秦河勝を祀る大避神社の、神門からの眺めは圧巻でフォトフレームのようです。神門をキャンバスに見立てて、瀬戸内のブルーを楽しんでいただきたいです。好天の日に訪れた際には、小豆島がくっきりと見えました。（土井さん）
赤穂市坂越1299　☎0791・48・8136

## ■ 赤穂緞通

塩作りとともに生まれた赤穂の名産品「赤穂緞通」は、畳などに敷く敷物です。独特の風合いと手触りを持ち、文様を際立たせるために握りばさみで念入りに行う摘みの作業は、大変な技術と相当の根気を要する手仕事でした。この赤穂緞通は最盛期で働く女性の副業として生まれ、現在も市内で20人ぐらいの女性が伝統を守り続けています。桃井ミュージアムには、アンテナショップがあります。（野中さん）

## ■ 奥藤商事

江戸時代に廻船業で財を築き、慶長6（1601）年から酒造りを始めた奥藤家は、赤穂藩の御用酒屋も務めたといわれています。ここで造られる「忠臣蔵」や「ハ女」は力強い味わいで、赤穂唯一の酒蔵として、千種川の水と播磨の酒米などを使用し、この町にふさわしい酒を今も醸しています。敷地内の「奥藤酒造郷土館」は、酒造りの道具や廻船業の資料を展示しており、無料で見学可能。現在の奥藤商事は、白壁や焼き板の石蔵が連なる風情ある坂越大沼いにあり、周囲の町並みとともに歴史的景観を形づくっています。毎年「おくとう市」や「奥藤Ｂａｒ」などのイベントを開催し、にぎわいを生み出しています。（野中さん）
奥藤酒造郷土館
赤穂市坂越1419の1
☎0791・48・8005
▽月・土曜日9～17時▽日曜日休休（年末年始・日・祝日は要問い合わせ）

## ■ 坂越かき

坂越産に育まれた坂越かきは、加熱しても縮みにくく、ぷりっとした弾力。濃厚でありながらも後味に透明感が残る味わいで、関東にもファンを持つ人気ブランドです。2023年には、ブランド力を高めるために表記を統一した「坂越かき」が、特許庁の地域団体商標に登録されました。25年の冬は不作の年となりましたが、赤穂市漁業協同組合を中心に今後の取り組みを進めています。（野中さん）

## ■ 日本遺産・赤穂の塩

今年は赤穂東浜塩田の開発から400周年。「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂」として日本遺産に認定されている赤穂の塩は国内製造の2割を占め、さまざまな特徴をもった塩が作られています。赤穂化成株式会社が、伊和都比売神社の境内にオープンした塩カフェ「AMAMI TERRACE」では、店内で仕上げた塩をかけて食べる料理やスイーツを提供し、塩のお土産物販売や日本遺産も学べる塩のワークショップも行っています。（野中さん）
AMAMI　TERRACE
赤穂市御崎２の１
☎0791・42・4140
▽営業時間10～17時（ラストオーダー16時30分）▽不定休

## ■ まるおファームのイチゴ

「まるおファーム」のイチゴは、瀬戸内海を望んだ日差しの良い立地のハウスで、温暖な気候のもと、海のミネラルをたっぷり含んだ海風を受けて育ちます。糖度酸味が抜群で、全国に誇れるイチゴとして、もっとＰＲしていきたい。（平田さん）
赤穂市中広1830の２　☎090・7119・5229

## ■ 赤穂温泉

瀬戸内の穏やかな海と一体感のあるお風呂は、まさに「よみがえりの湯」と呼ばれるのにふさわしく、これまで添乗員として全国で仕事をしてきた長年の経験から、日本で３本の指に入る全国屈指の温泉として自信を持ってお薦めできます。赤穂の魅力を知ってもらうには日帰りではもったいないので、ぜひ宿泊もしてほしい。（平田さん）

８月29日の朝刊でも赤穂市の「ふるさとの光」の特集記事を掲載します。

## ■ 千種川

千種川の河川敷は美しく整備され、丁寧に刈り込まれた芝と川の稜線が穏やかな景観をつくっています。そこに立つと、不思議と心がすっと整います。日常のすぐそばに、気持ちを立て直せる自然があることは、暮らしの豊かさそのものだと感じます。（金子さん）＝写真は坂越アルプスの宝珠山からの千種川の眺め

## ■ 桃井ミュージアム

赤穂御崎の四季折々の景色を楽しめる、播磨有数の絶景ポイントです。春には、桜の桃色と海の青、木々の青が織りなす色彩コントラストが圧巻！
施設内には兵庫県伝統的工芸品に指定の幻の焼き物「雲火焼」が所狭しと並び、日本三級通の一つ「赤穂緞通」のアンテナショップもあります。珍しいトゥクトゥクにも乗ることができます。（土井さん）
赤穂市御崎634
☎0791・56・9333
▽営業時間＝9～16時最終入館（16時40分退館）▽休館日＝火曜日（祝・祭日の場合は翌日）

## ■ 伊和都比売神社

千年以上の歴史がある古社で、伊和都比売大神をお祭りしています。海の守り神として、航海安全や大漁祈願に多くの参拝者が訪れます。最近では、縁結びの神として、人気の観光スポットになっています。（平田さん）
赤穂市御崎1
☎0791・42・3547

## ■ 赤穂海浜公園オートキャンプ場（赤穂シーサイドパークグランピング）

公園の一角にある「赤穂シーサイドパークグランピング」は、豊かな自然と多彩なアクティビティが自慢。愛犬と泊まれるドッグヴィラ、カップルから家族3世代までさまざまな利用に対応できるプライベートコテージ、ドームテントの3種の宿泊棟があります。地元の厳選素材で楽しむBBQやサウナなど、日常を忘れ、リフレッシュするのにぴったりです。（土井さん）
赤穂市尾崎326002　☎0791・45・0811

## ■ たたみ岩

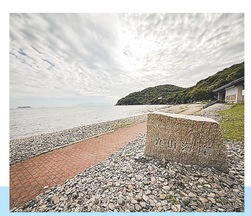
伊和都比売神社から、周辺におしゃれなお店のある「きらきら坂」を海へと進むと、たたみ岩があります。干潮時のみ歩いて渡ることができ、恋人二人で渡ると願いがかなうといわれています。また、きらきら坂から見る夕日は本当に素晴らしいです。（平田さん）
赤穂市御崎２の１

## ■ 坂越アルプス

瀬戸内海に面して連なる低山は「坂越アルプス」として人気のハイキングコース。山腹にある妙見寺からは坂越湾や港町を見渡すことができます。登山道を楽しく歩く工夫や倒木処理など、山の整備を続けるボランティアのほとんどが定年退職後の方々。関わる人の健康と山の持続可能性が両立している姿に、このまちの豊かさを感じます。（金子さん）
妙見寺観音堂
赤穂市坂越1307　☎0791・48・0555

## ■ 学生と住民との交流

坂越地区で野菜を持ち寄る露店イベント「八百八」を立ち上げました。手探りの試みでしたが、地域の方々が温かく見守り、共に動いてくださいました。やがて大学の学生も授業を通して関わるようになり、国重要無形民俗文化財に指定されている「坂越の船祭」に参加したり、「坂越まち並み館」のリニューアルを共同で行ったりと、つながりが生まれました。外から来た者の挑戦を受け止め、育ってくれる風土は、大きな魅力です。
「八百八」の野菜販売は、今年は11月21、28日、坂越の特産品店舗「広馬船」の隣の芝生で実施します。（金子さん）
坂越まち並み館
赤穂市坂越1446の2
☎0791・48・7770
開館時間＝10～16時（入館15時30分まで）▽休館日＝毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）



## ■ 丸山県民サンビーチ

海岸で初日の出を迎える年越しキャンプには遠方からも多くの人が訪れます。知らない人同士が自然にあいさつを交わし、同じ時間を分かち合う光景に、このまちの穏やかな気質が表れているように感じました。観光だけでなく滞在し、時間を重ねる中でこそ味わえる魅力があります。（金子さん）
赤穂市尾崎2296の3
☎0791・43・6839

＜一部写真は赤穂市の提供＞